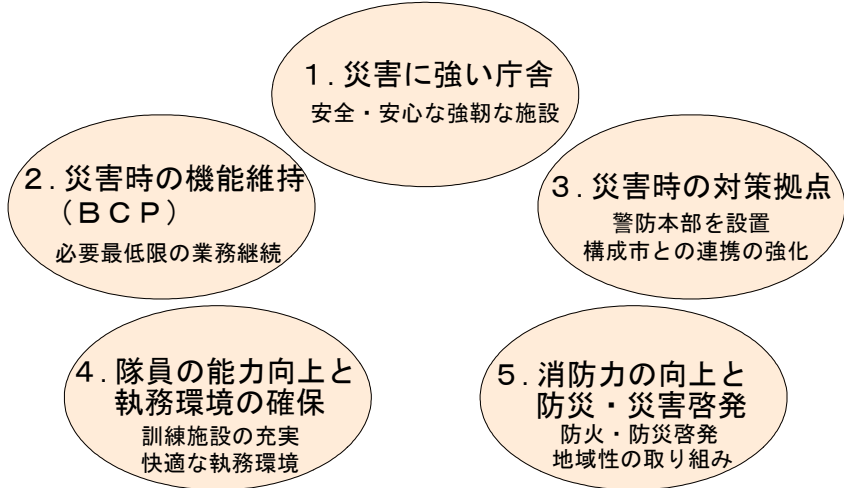


1. 外観パース（イメージ図）



2. コンセプトシート

プロジェクトテーマ：広域消防としての新たな災害活動拠点の確立



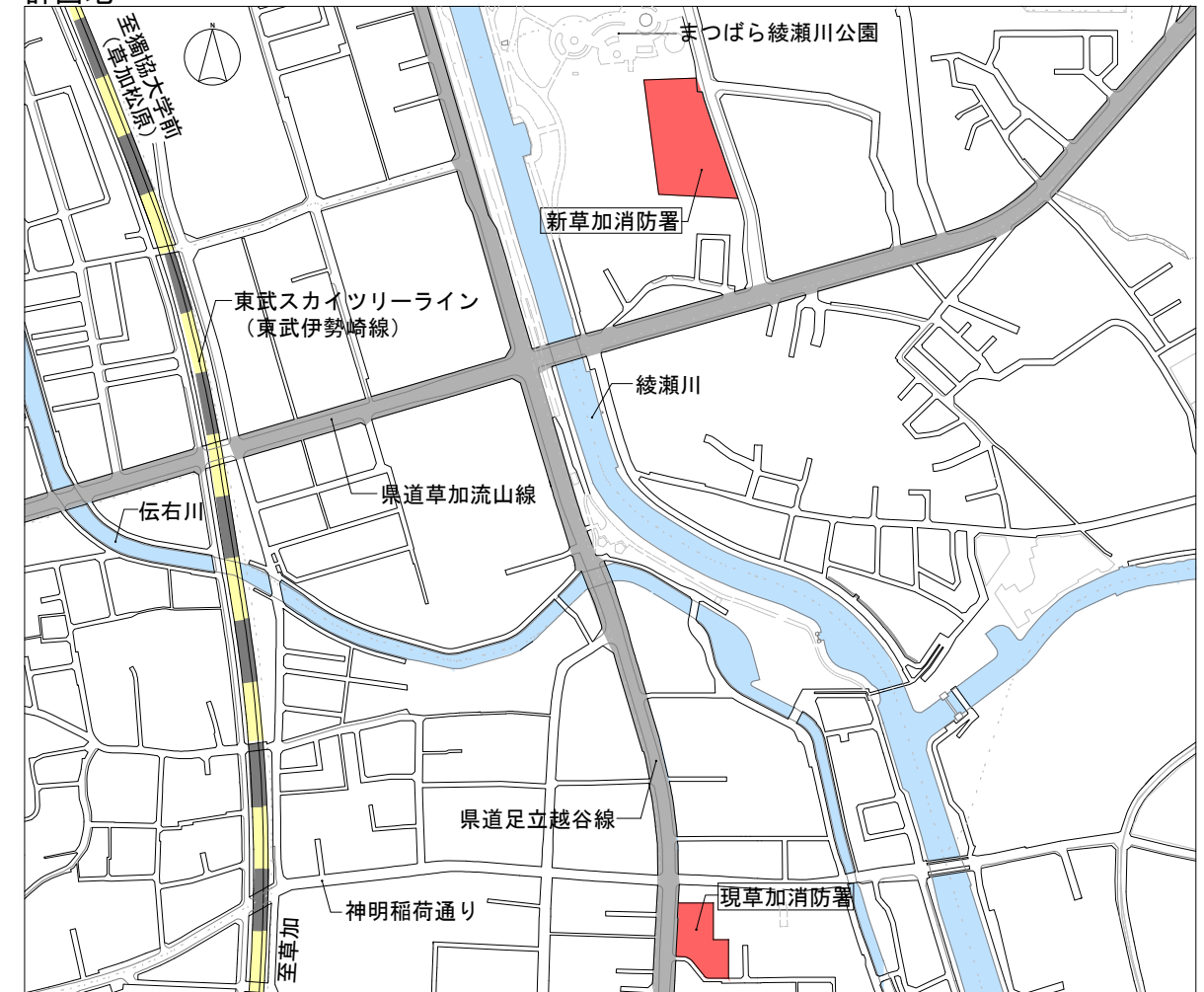
敷地概要

所在地	草加市松江二丁目70番28
敷地面積	4,962.49㎡
区域区分	市街化区域
用途地域	第一種住居地域
高度地区	指定なし
建蔽率	60%
容積率	200%
防火地域	指定なし（建築基準法第22条区域）
道路斜線	前面道路の反対側より20m範囲適用、斜線勾配1.25（セットバックによる緩和あり）
隣地斜線	隣地境界線で地上20mより斜線勾配1.25
北側斜線	なし
都市マスタープラン	新田東部地区、市の文化的な拠点
景観計画区域	歴史、文化、伝統の景観ゾーン（国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」）
日影規制	4時間以上（5m以内）／2.5時間以上（10m超）
絶対高さ	なし

計画建物概要

主要用途	消防庁舎
消防法防火対象区分	15項
耐火建築物	耐火建築物
構造	鉄筋コンクリート造 免震構造
基礎形式	杭基礎
規模	地上4階
建築物の高さ	21.9m（屋上設備フェンスを含む）
建築面積	1540.16㎡
延床面積	4833.58㎡
容積対象延床面積	4337.22㎡
建蔽率	31.03%
容積率	87.40%
駐車台数（来庁者用）	23台（6台）
駐輪台数（来庁者用）	49台（10台）

計画地

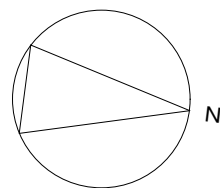


面積表

	庁舎棟	訓練棟A	訓練棟B
PH階	31.96㎡	11.91㎡	
5階		107.89㎡	
4階	912.00㎡	107.89㎡	
3階	996.25㎡	108.61㎡	
2階	912.00㎡	69.14㎡	60.63㎡
1階	1199.83㎡	140.20㎡	88.92㎡
小計	4052.04㎡	545.64㎡	149.55㎡
合計			4747.23㎡

草加消防署（消防局機能含む）建設実施設計（概要版）

3. 配置図・外構図



建物配置計画

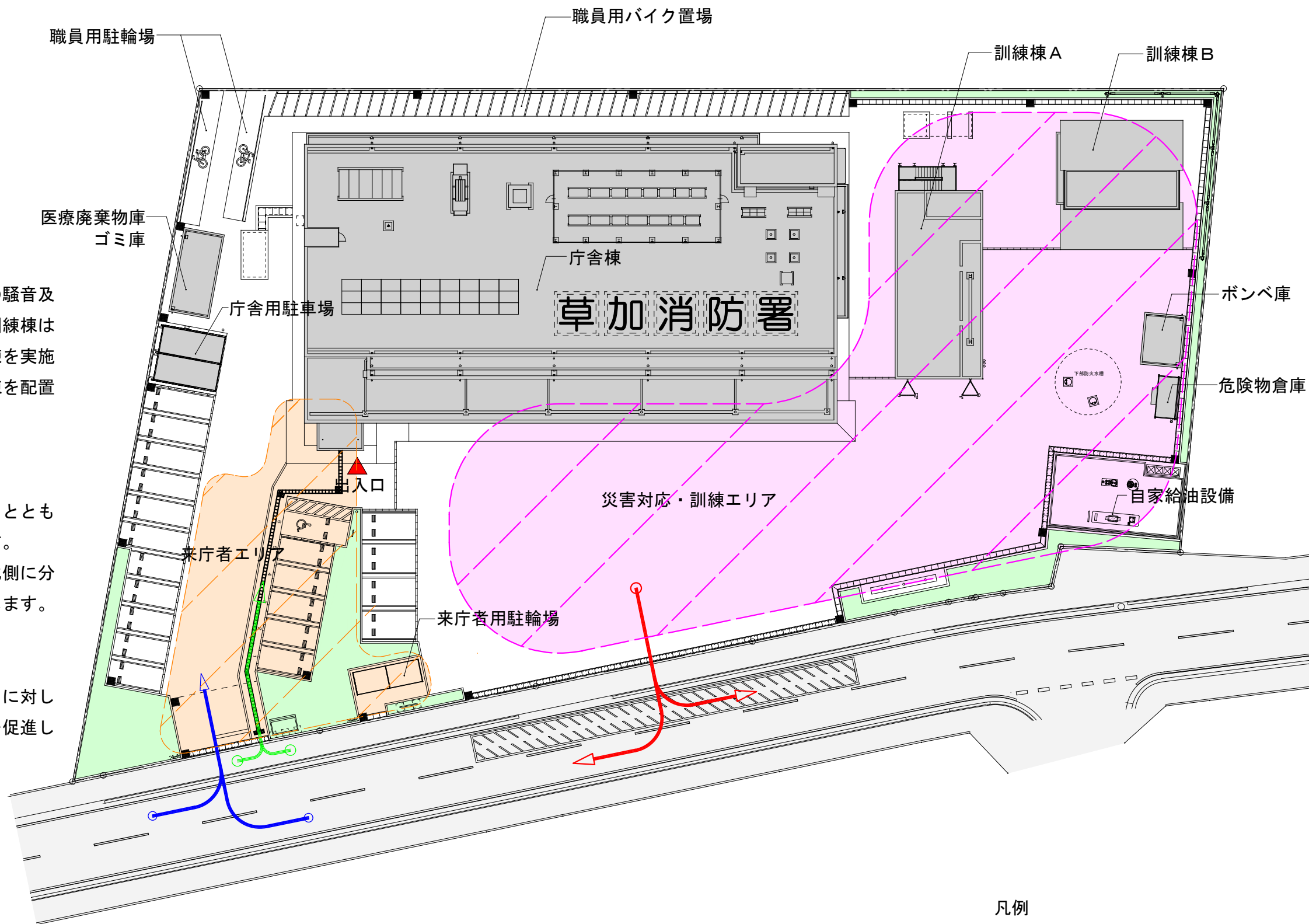
庁舎棟は西側、訓練棟は北側に配置し、周辺への騒音及び圧迫感を最小限に抑えた配置計画とします。訓練棟は地域の実情を踏まえ、あらゆる災害に対する訓練を実施できる複合型屋内外訓練棟及び一般住宅型訓練棟を配置します。

来庁者、車両動線計画

庁舎棟の東側に面して主要となる出入口を設けるとともに自転車や徒歩での来庁に配慮した計画とします。一般車両の出入口を南側、緊急車両の出入口を北側に分散することで、出入口の安全に配慮した計画とします。

景観への配慮

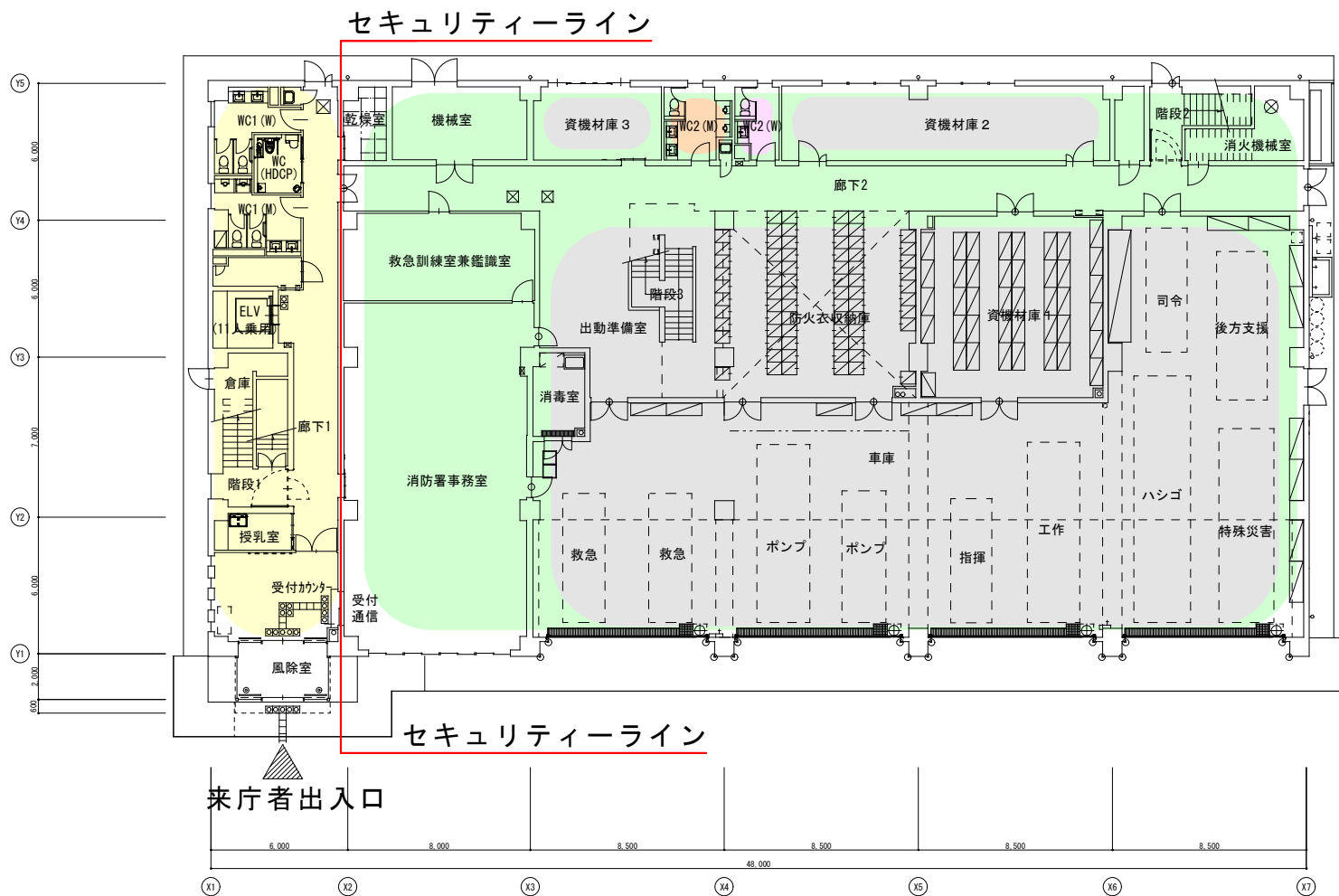
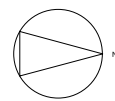
国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」に対しては、景観に調和した明るく開放的な景観形成を促進します。



凡例

- 緊急車両動線
- 来庁者車両動線
- 来庁者動線

4. 庁舎棟 平面計画図 1



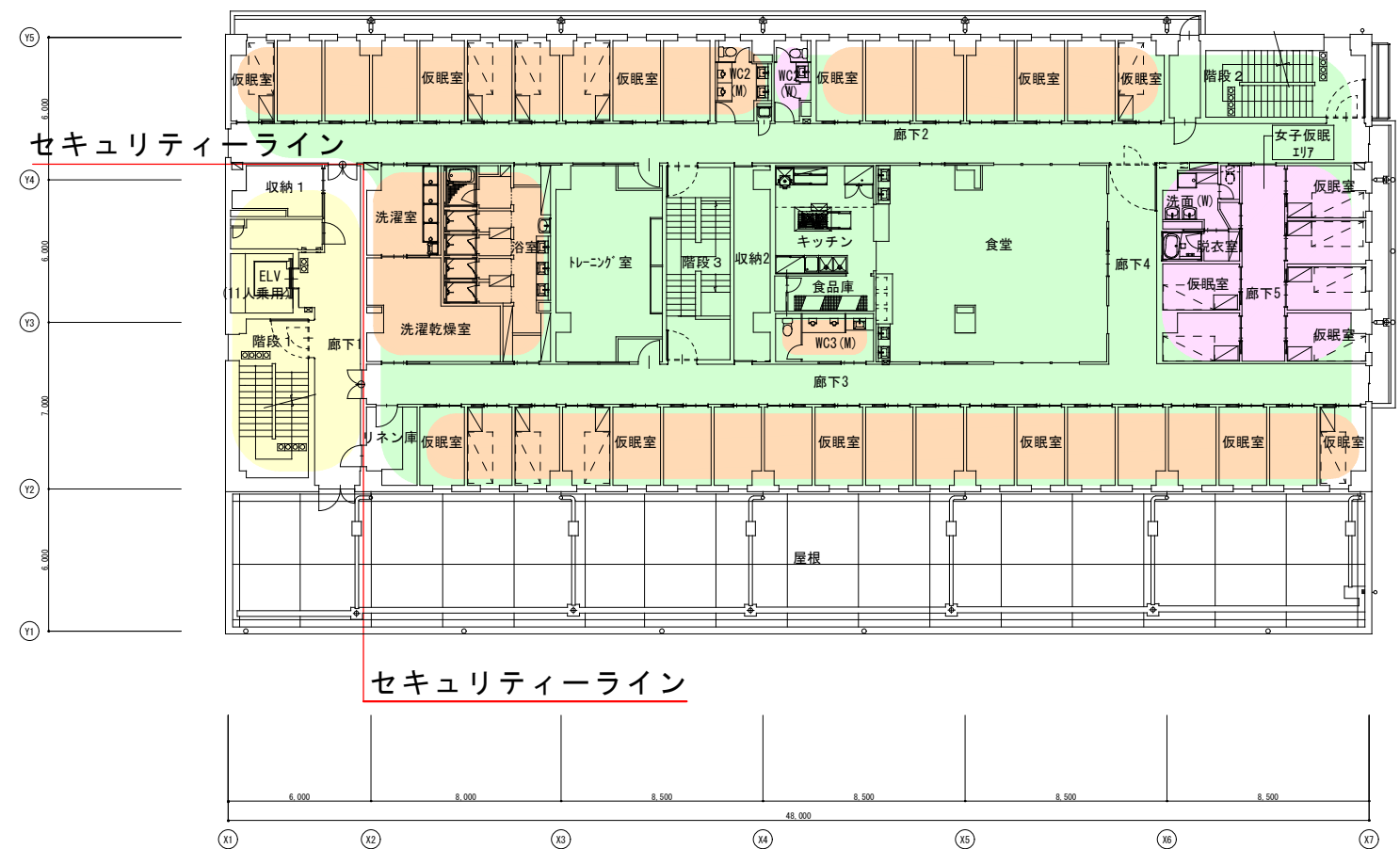
1階平面図

あらゆる災害に対し迅速に対応

- ・ 庁舎棟東側に緊急車両を配置し、初動体制を考慮した機能を備え迅速に出動する体制を確立します。
- ・ 来庁者にわかりやすいエントランス空間
- ・ 庁舎棟南東側にエントランスを配置し、ピクトグラムなどを活用して来庁者の利便性に配慮した空間とします。
- ・ 近隣の公園を利用する子育て世代に配慮して、授乳室を設けます。

24時間災害対応する職員の居住空間

- ・ 仮眠室、食堂、浴室などの生活空間を同一のフロアに設け隊員の利便性の向上と災害に備える体制づくりに配慮します。
- ・ 隊員に感染症が流行した場合に備え、仮眠室を個室化することで感染拡大を抑制し、業務を継続できる体制を確立します。
- ・ 女性隊員のスペースを設け、安心して働ける空間を創ります。
- ・ 隊員の体力向上をサポートする設備を充実させます。

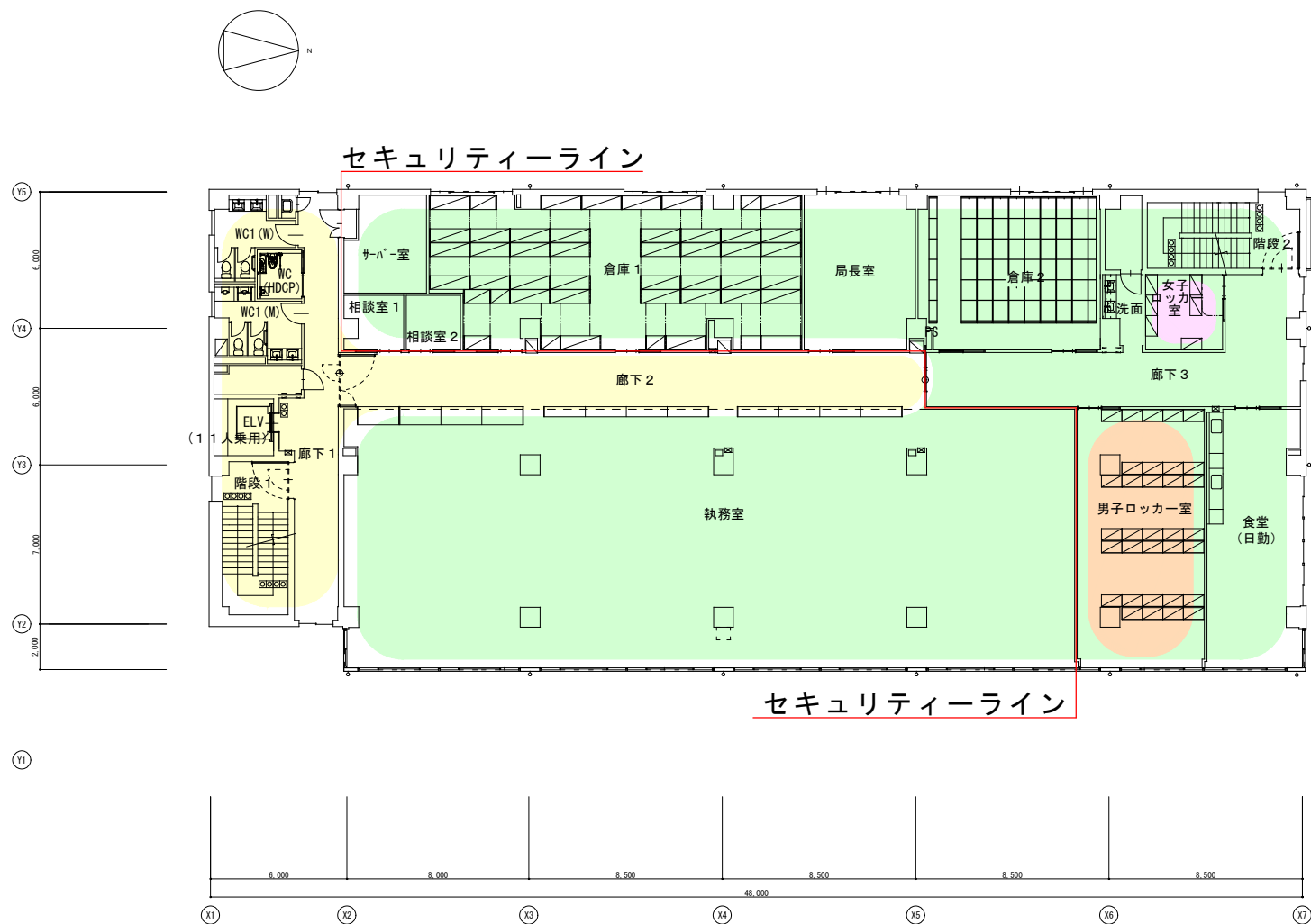


2階平面図

凡例

- セキュリティライン
- 来庁者共用ゾーン
- 全職員、隊員ゾーン
- 災害対応ゾーン
- 女性職員、隊員ゾーン
- 男性職員、隊員ゾーン

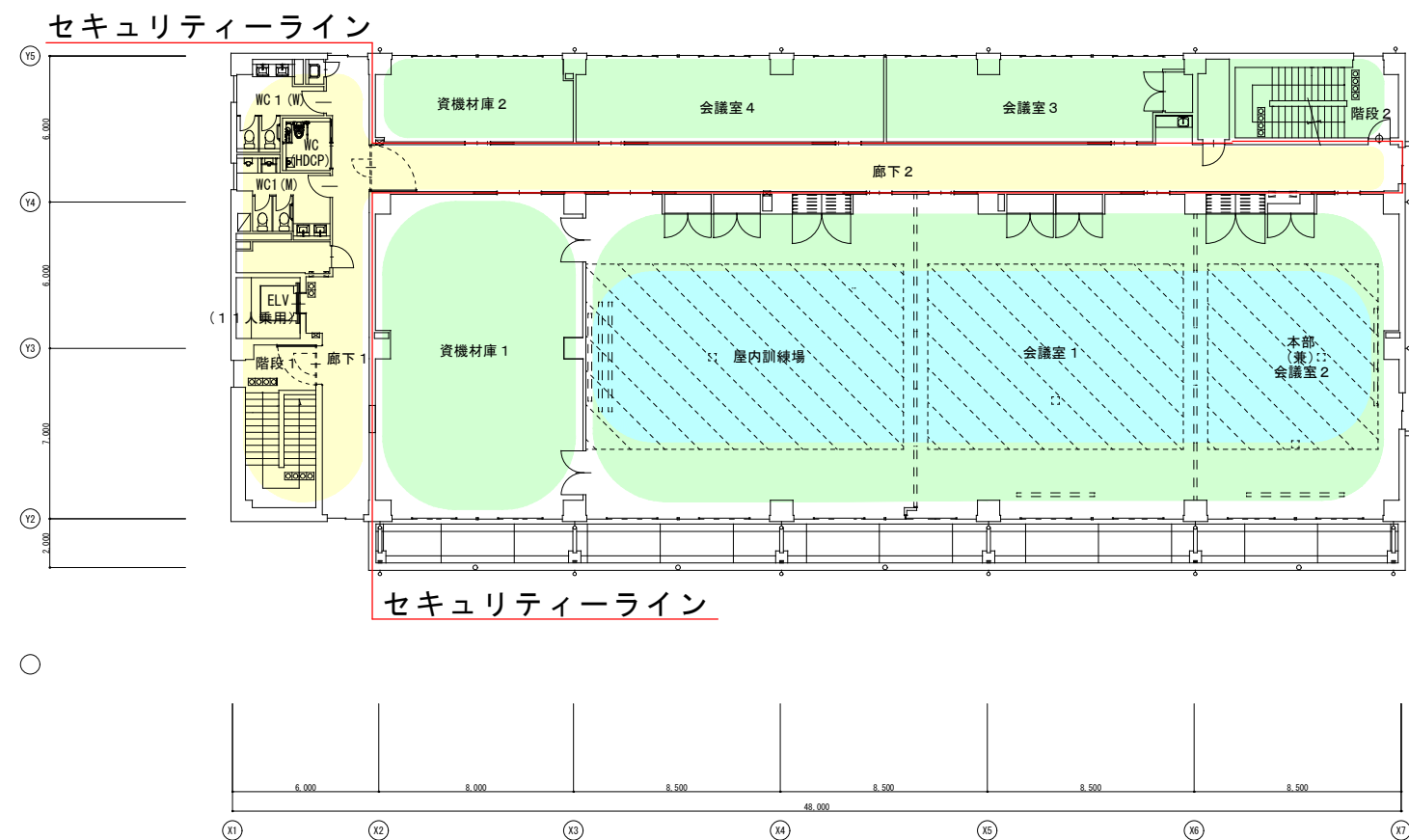
4. 庁舎棟 平面計画図 2



3階平面図

消防団拠点エリア

- ・災害時に消防団の活動拠点となるよう消防団本部や資機材庫等の機能を備え、平時に消防団訓練・役員会議・研修等が行えるほかにも、多目的に活用できるように移動間仕切り壁によって部屋の大きさを変えることができるしつらえとします。



4階平面図

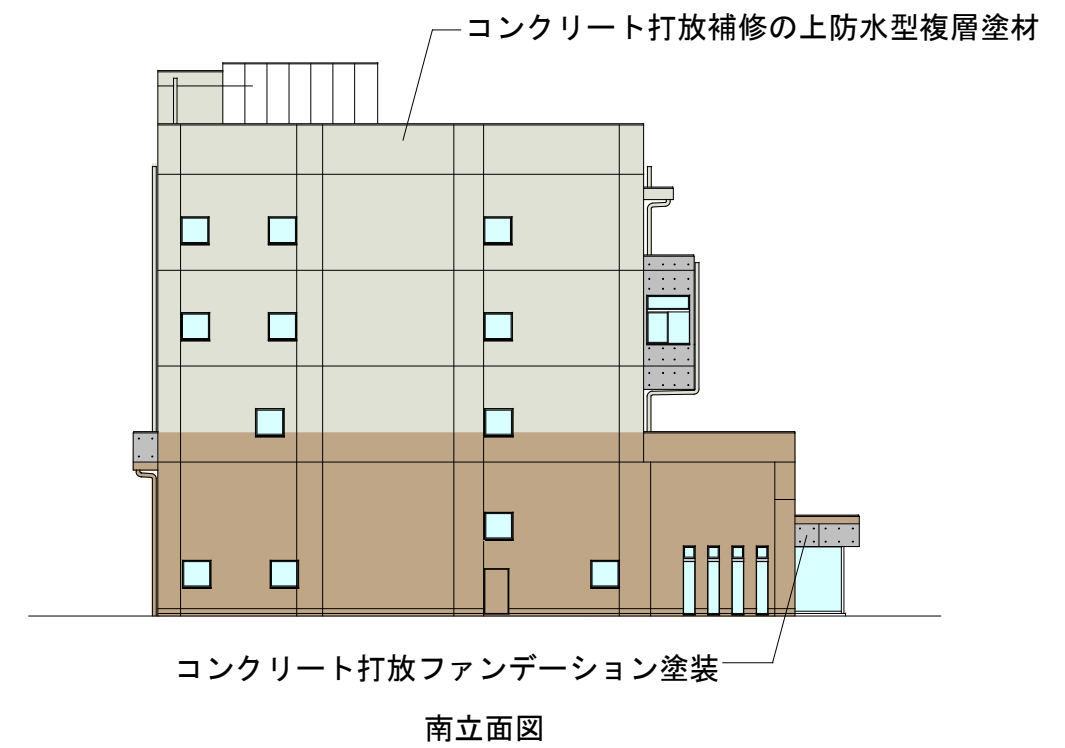
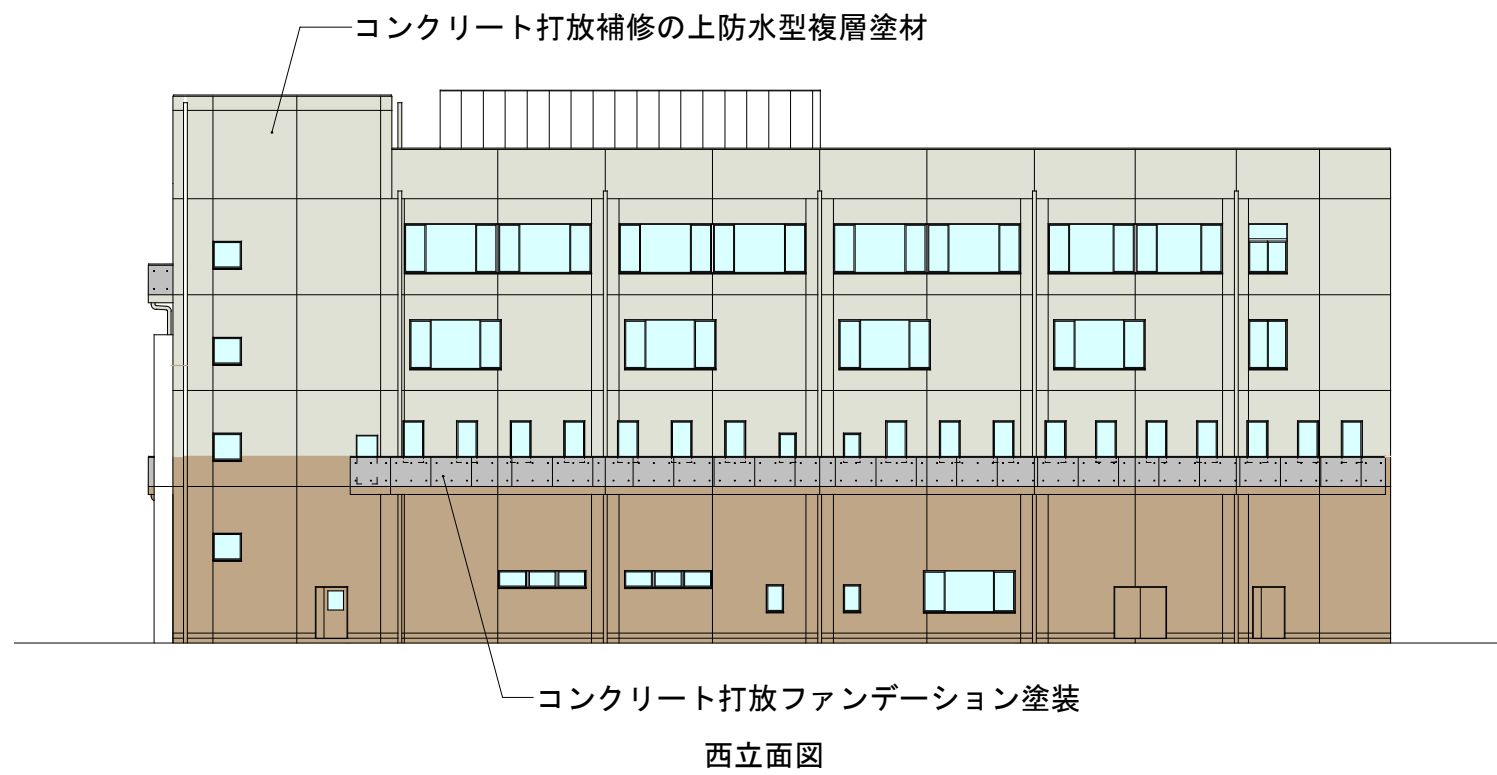
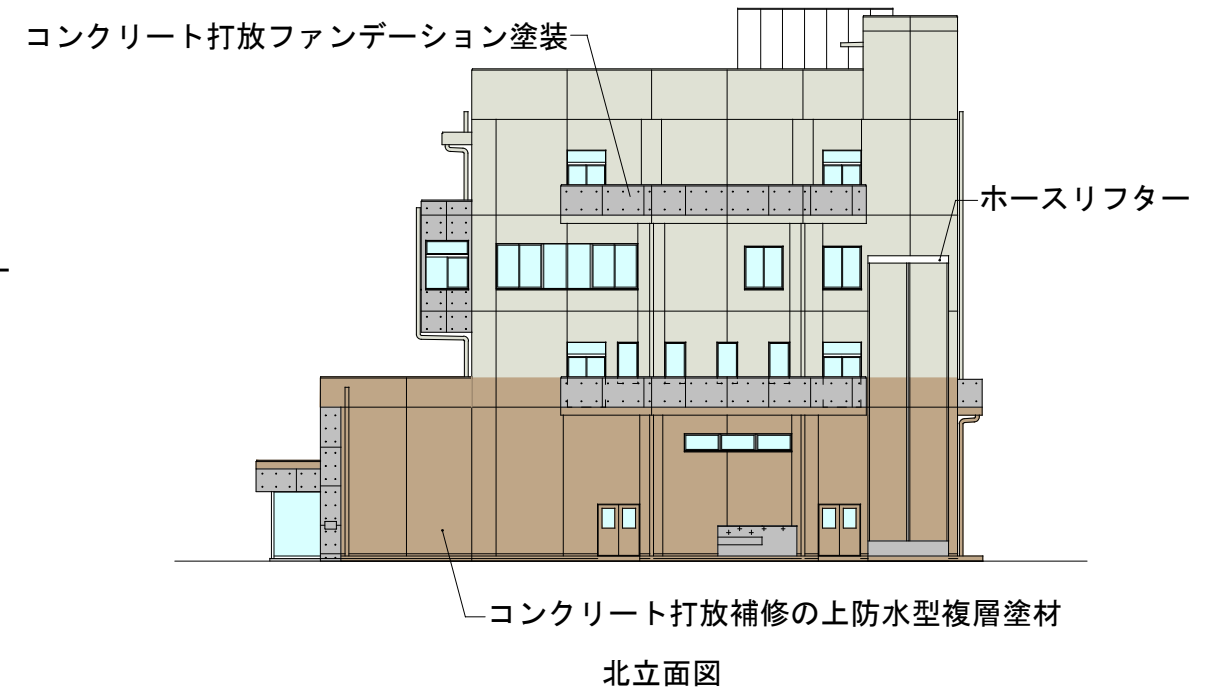
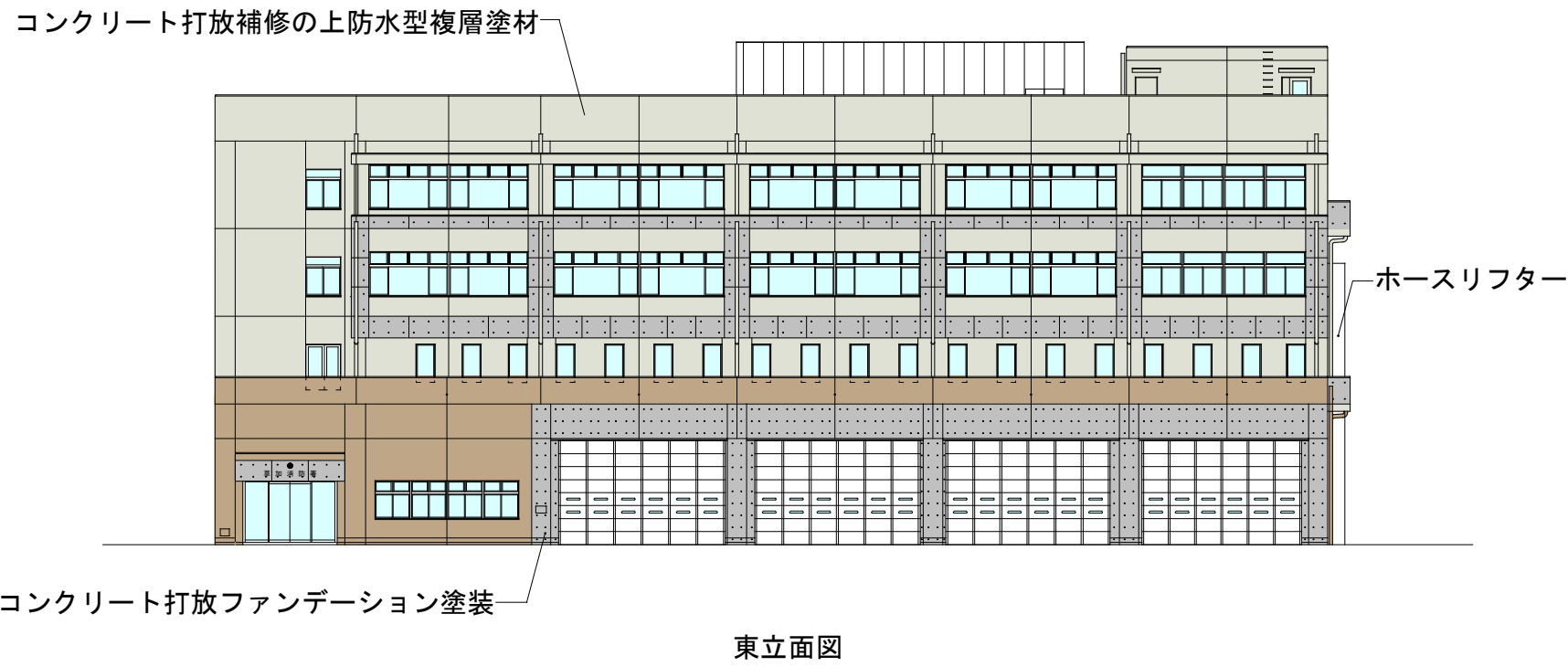
機能性の高い執務室

- ・執務室は間仕切りをなくして、大きな空間で構成し局内の連携をとれるように配慮します。また、レイアウト変更が容易なOA・フロアとします。
- ・来庁者の多い課を南側に配置することでエレベーターから窓口までわかりやすい配置とします。

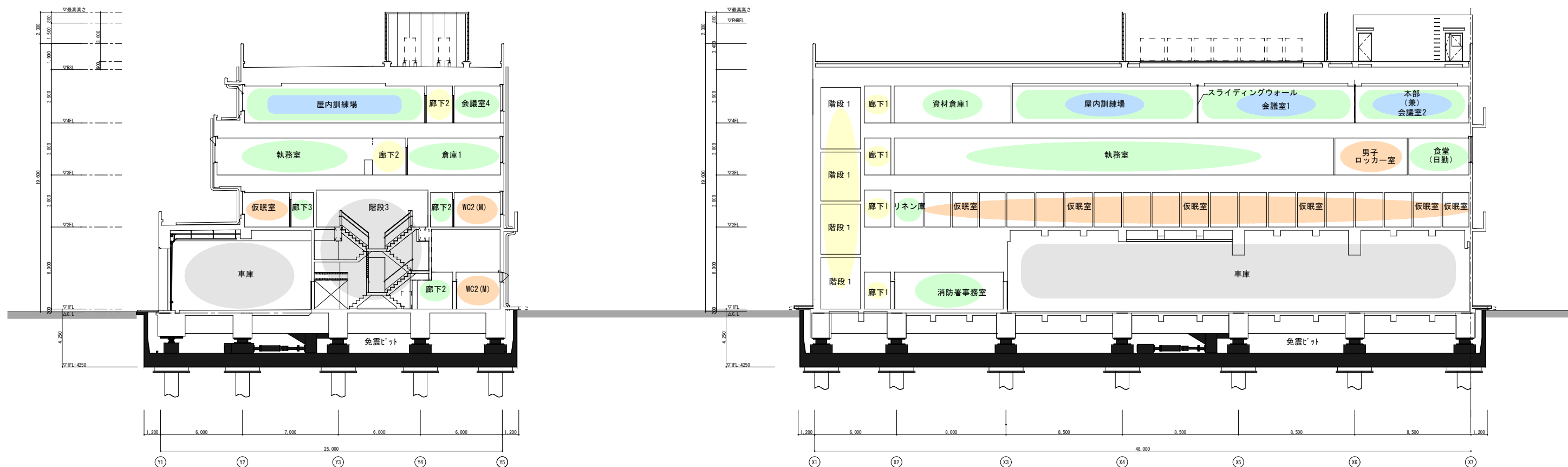
凡例

- セキュリティーライン
- 来庁者共用ゾーン
- 全職員、隊員ゾーン
- 災害対策ゾーン
- 女性職員、隊員ゾーン
- 男性職員、隊員ゾーン

5. 庁舎棟 立面図



6. 庁舎棟 断面図

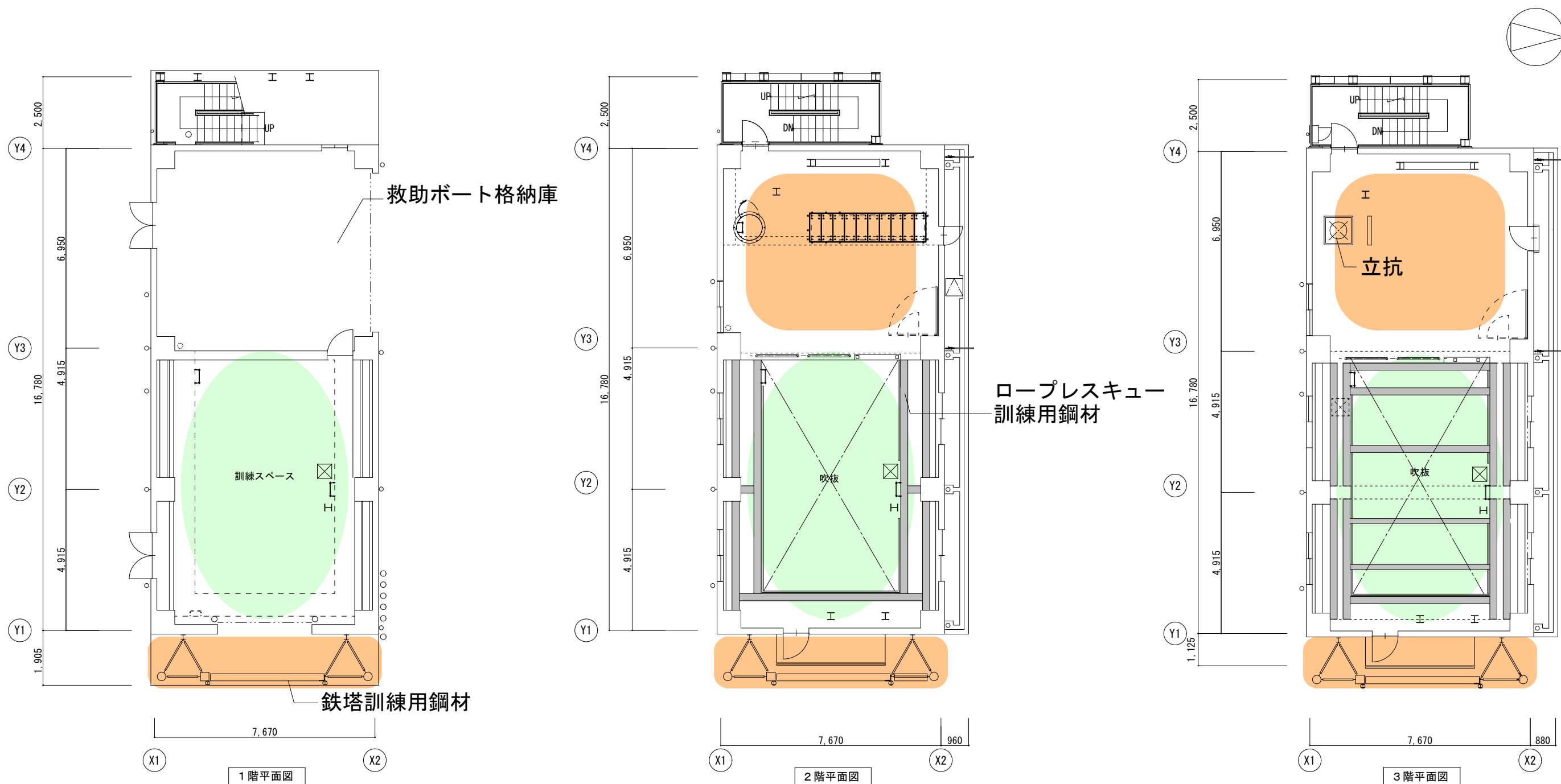


- ・災害防災対策拠点として免震装置を整備します。
- ・執務環境を保つため、階高を3.8mとし経済的な構造スパンとします。

凡例

	来庁者共用ゾーン
	全職員、隊員ゾーン
	災害対策ゾーン
	災害対応ゾーン
	女性職員、隊員ゾーン
	男性職員、隊員ゾーン
	免震ピット・免震装置

7. 訓練棟 A 平面図 1



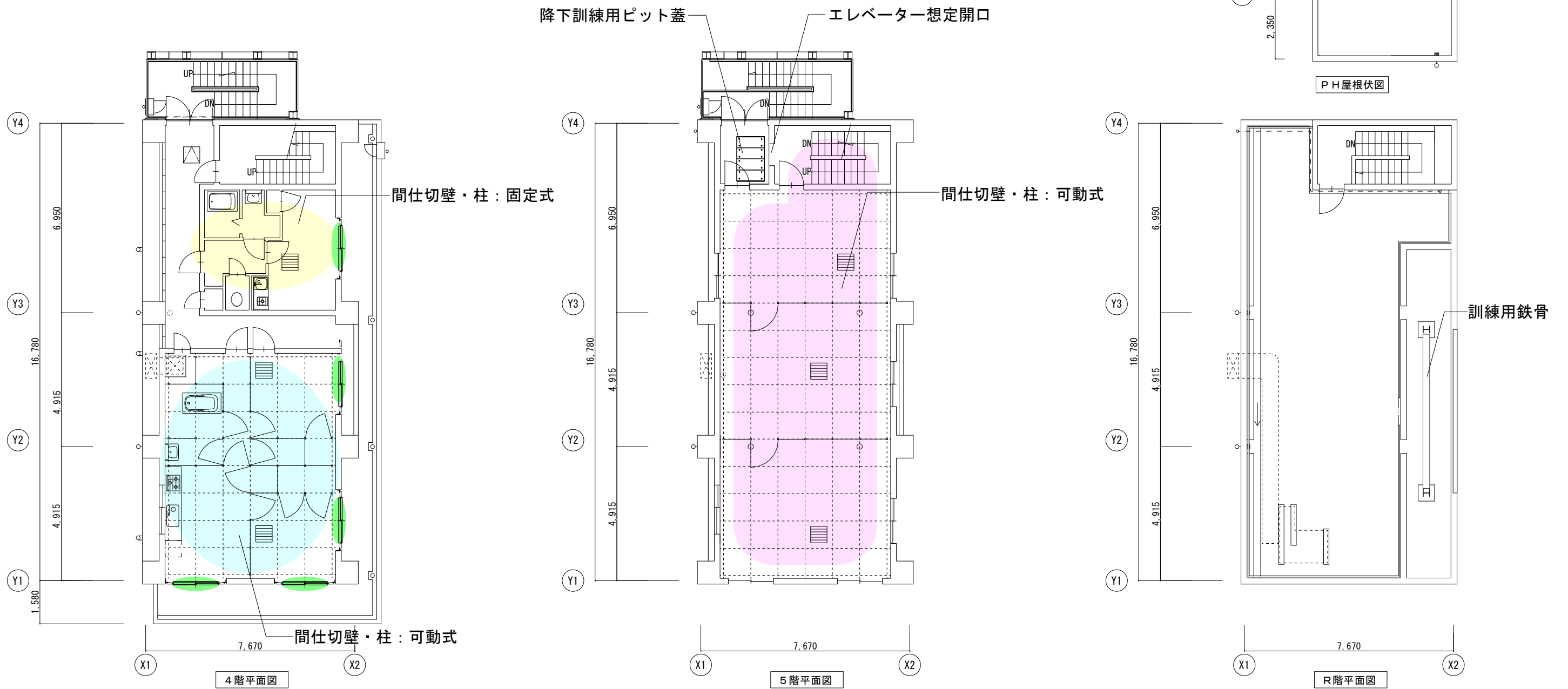
都市型ロープレスキュー基礎を習得する訓練エリアを整備します。

都市型ロープレスキュー応用1、CSRM、トレンチレスキューを習得する訓練エリアを整備します。

都市型ロープレスキュー応用2、鉄塔、立坑などの都市型救助を取得する訓練エリアを整備します。

- 凡例
- 都市型ロープレスキュー訓練エリア
 - 都市型救助訓練エリア

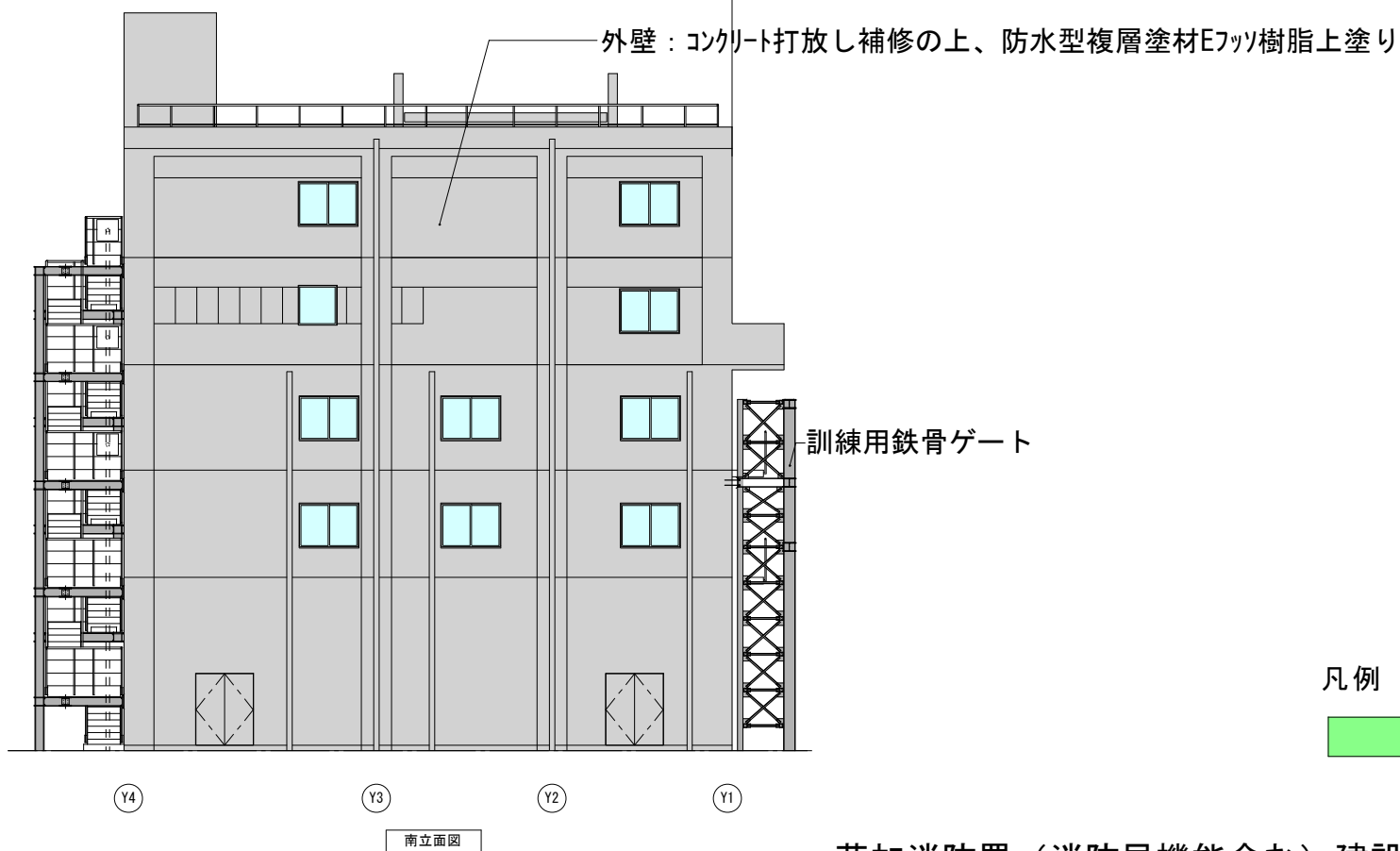
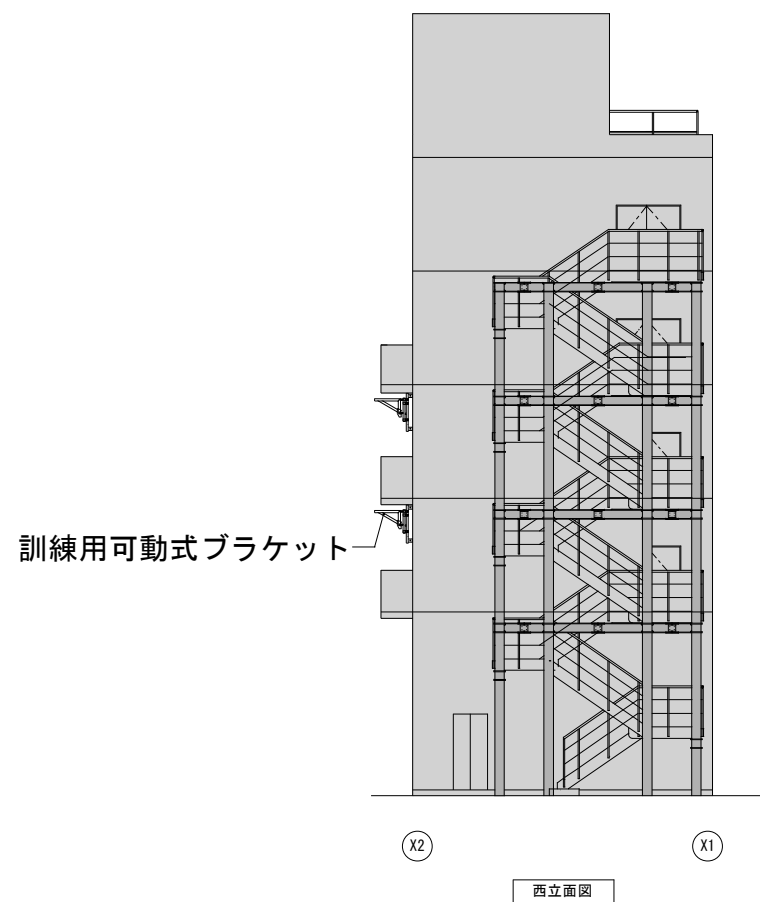
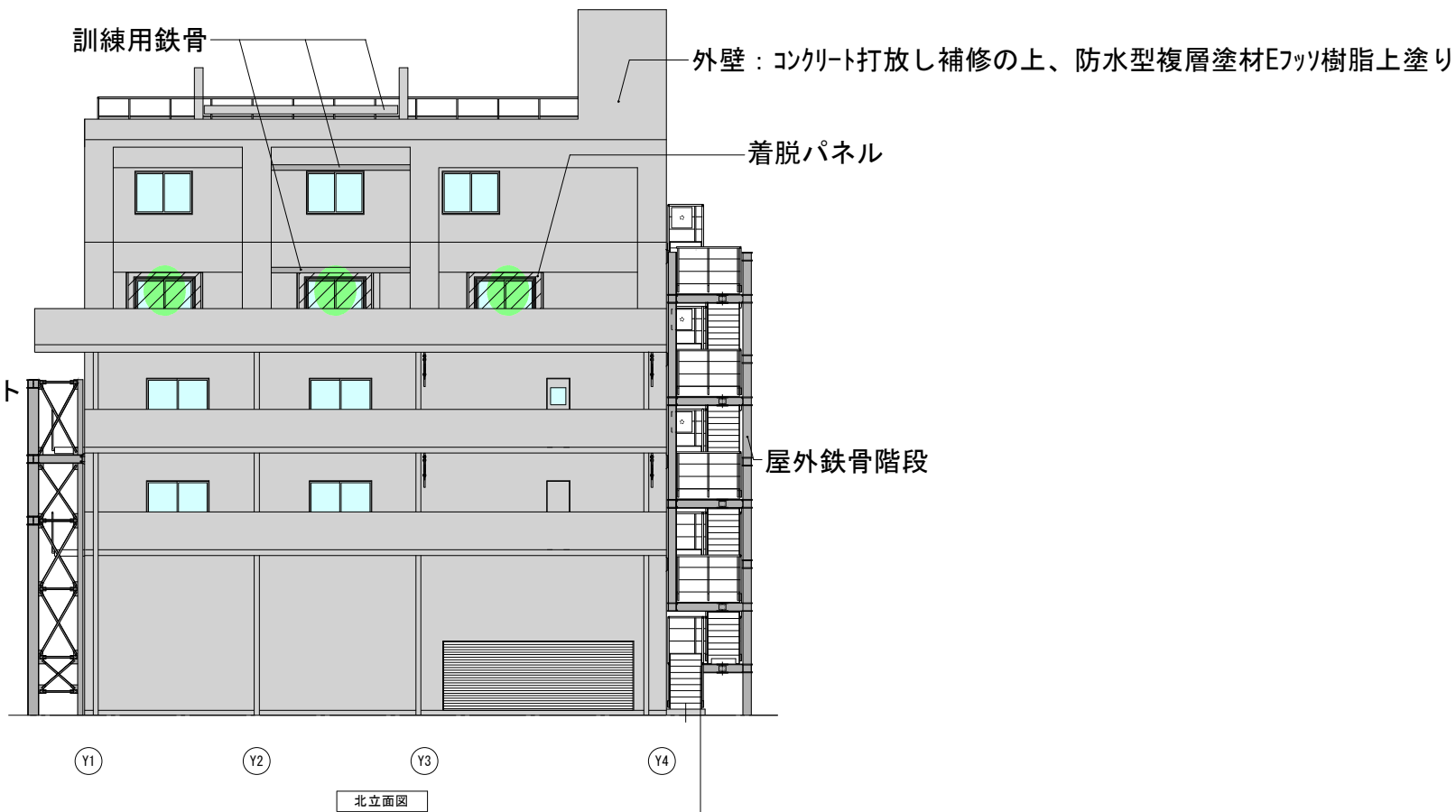
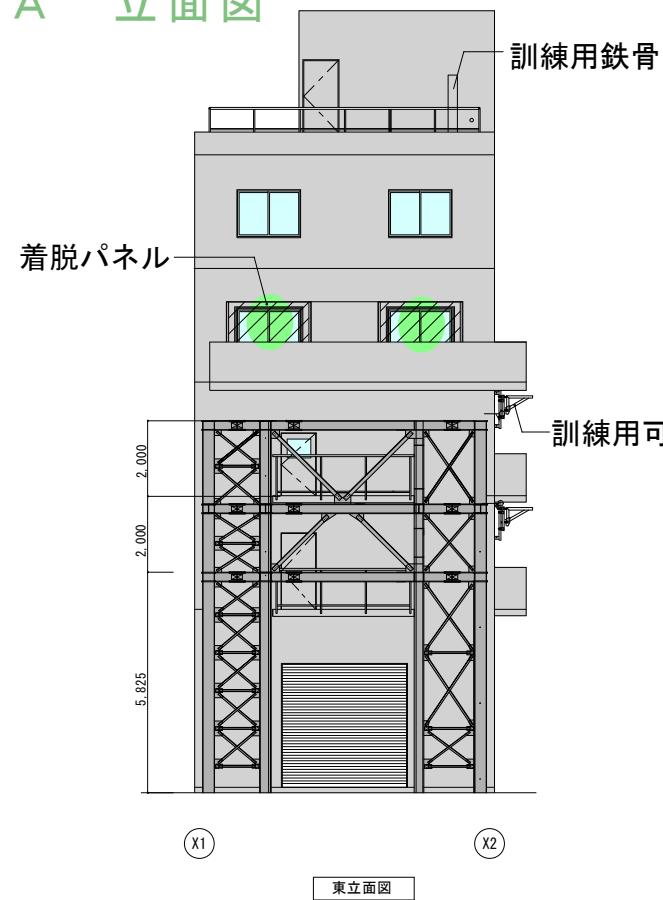
7. 訓練棟 A 平面図 2



4階のファミリータイプ共同住宅エリアと5階の雑居ビルエリアは、間仕切壁・柱を可動式にして部屋の大きさや、形を変えて訓練する事により、様々な場面を想定した消火・救出訓練ができるエリアを整備します。

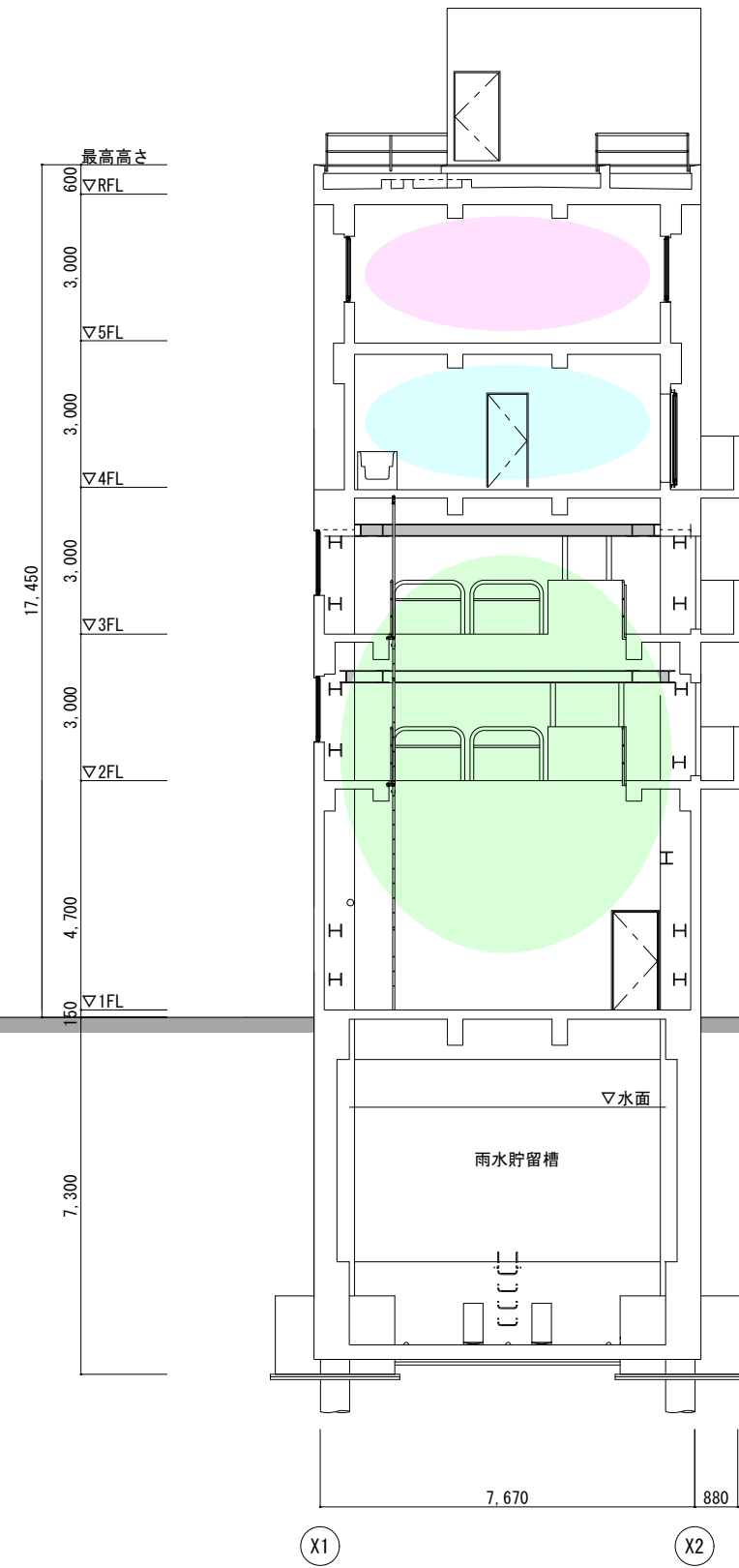
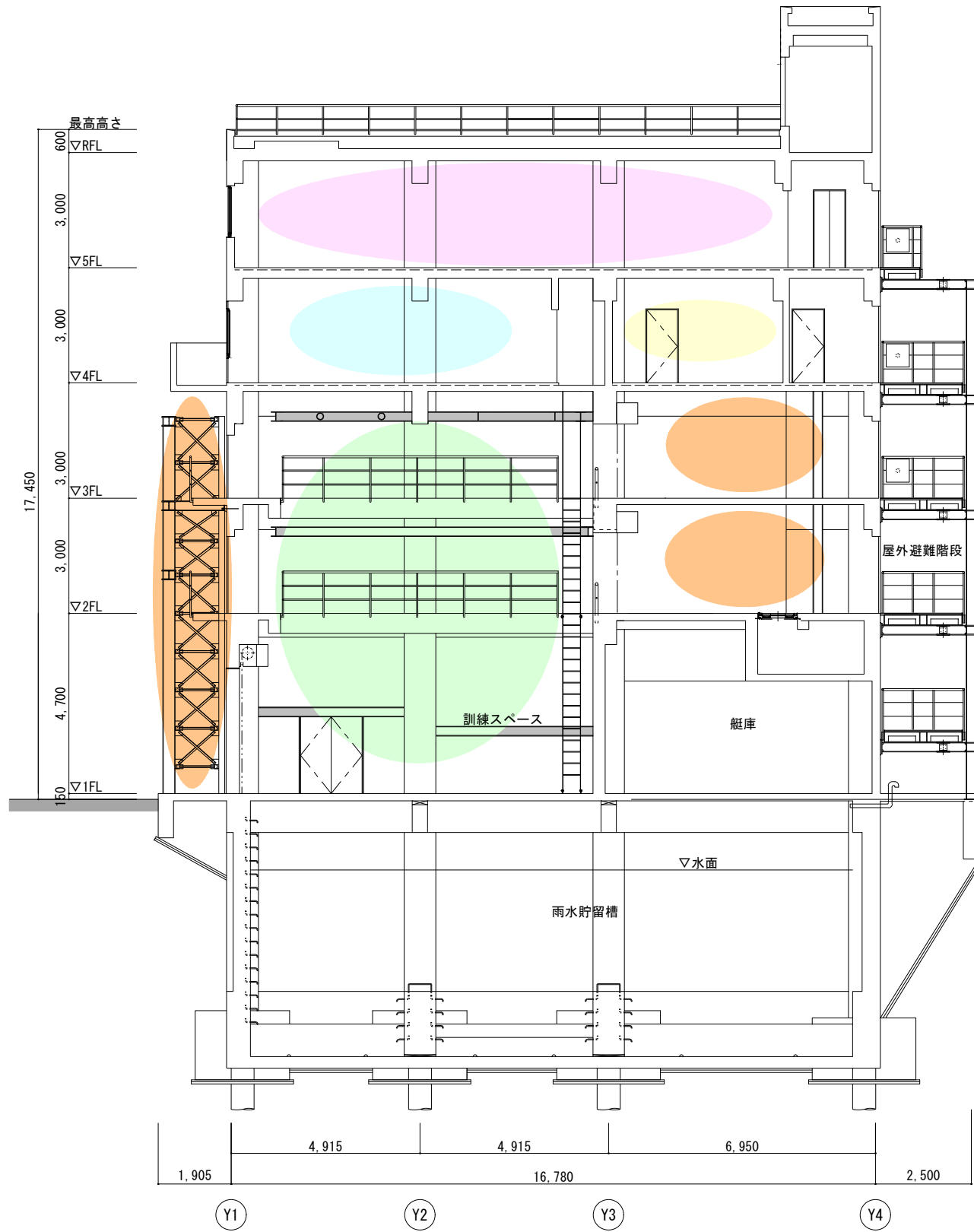
- 凡例
- 雑居ビルエリア
 - ワンルームタイプ共同住宅エリア
 - ファミリータイプ共同住宅エリア
 - 着脱パネル

8. 訓練棟 A 立面図



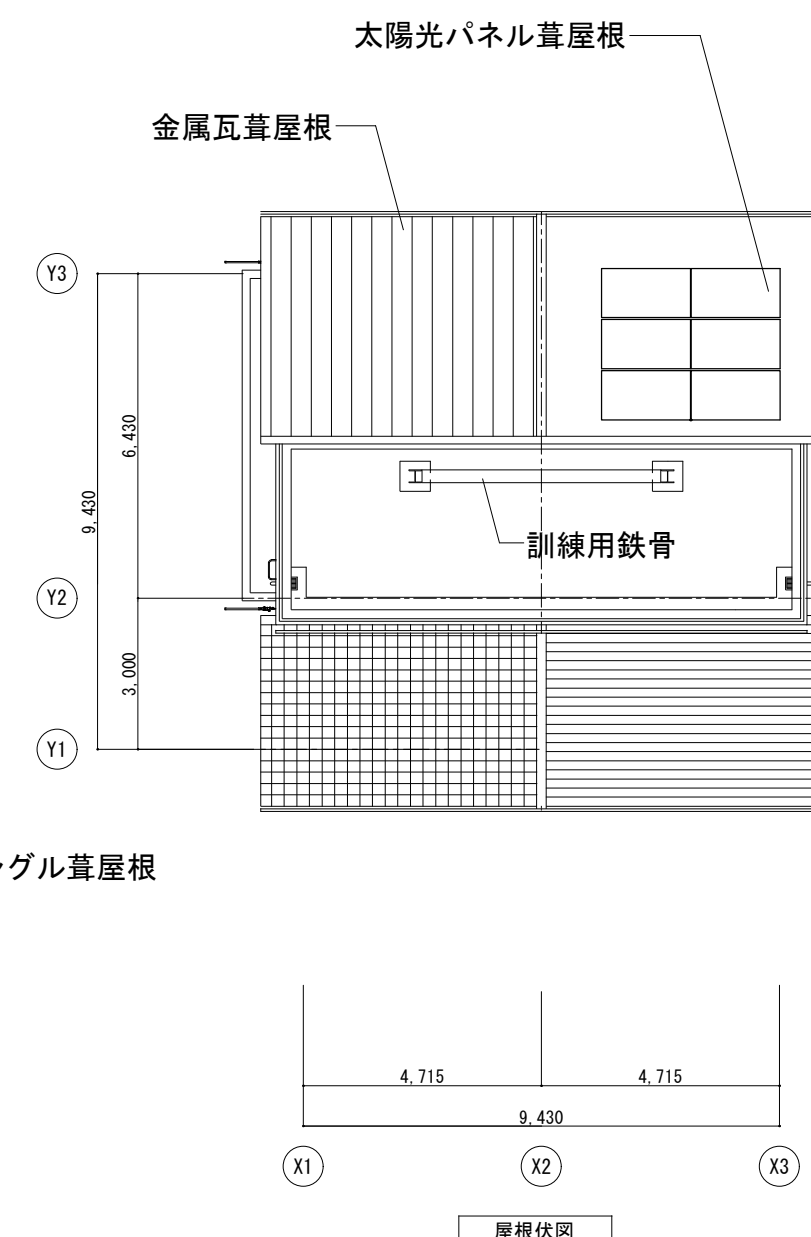
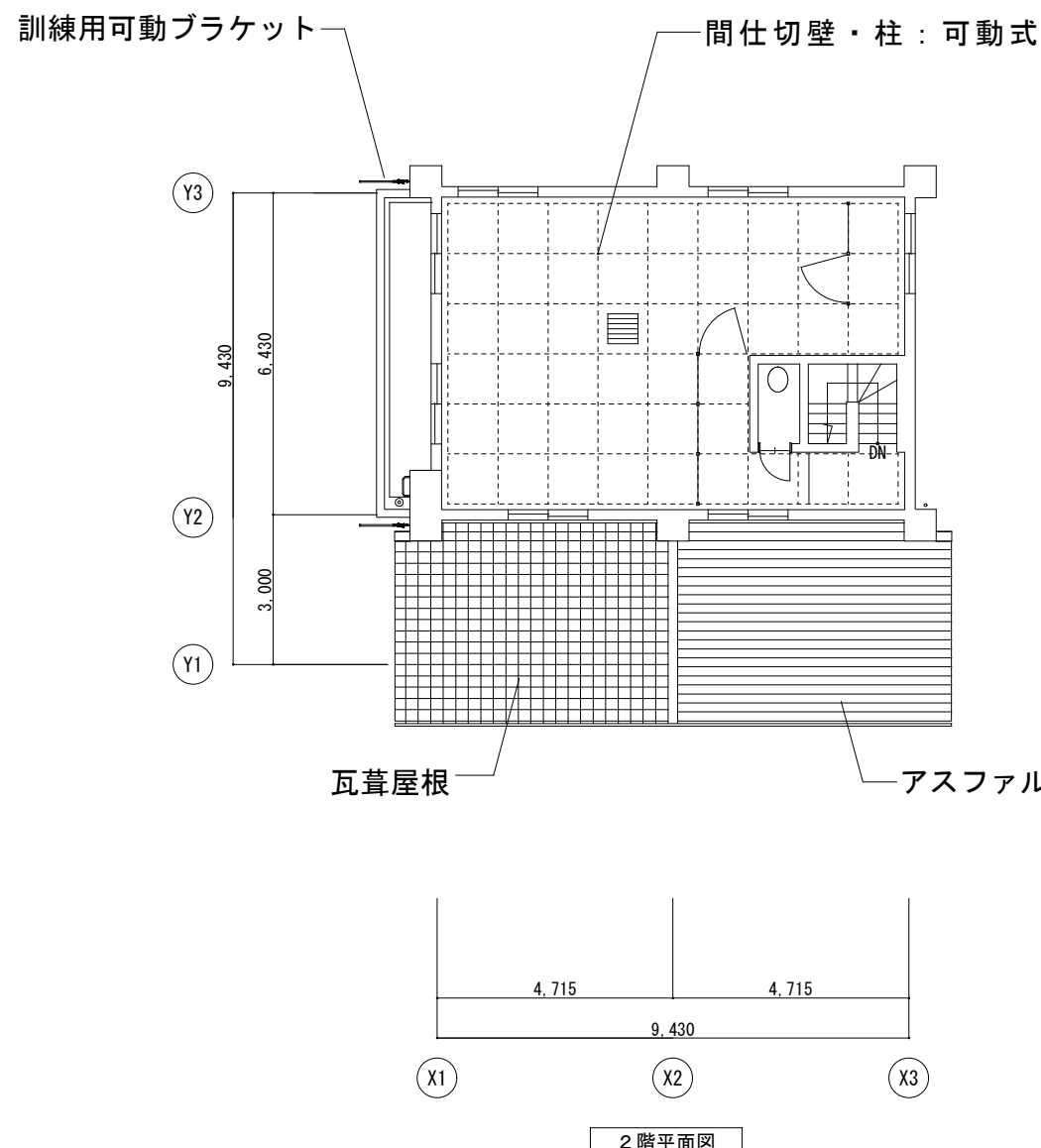
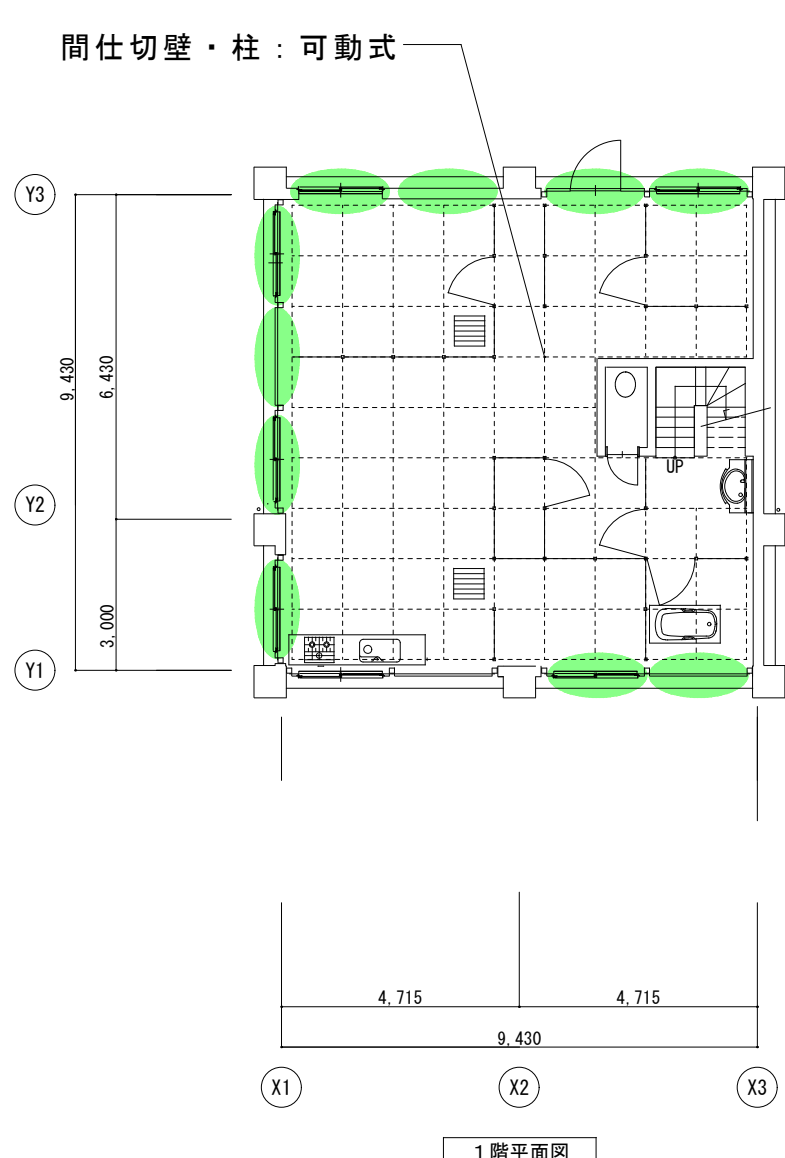
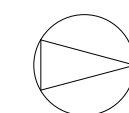
凡例
 着脱パネル

9. 訓練棟 A 断面図



- 凡例
- 雑居ビルエリア
 - ワンルームタイプ共同住宅エリア
 - ファミリータイプ共同住宅エリア
 - 都市型ロープレスキュー訓練エリア
 - 都市型救助訓練エリア

10. 訓練棟B 平面図

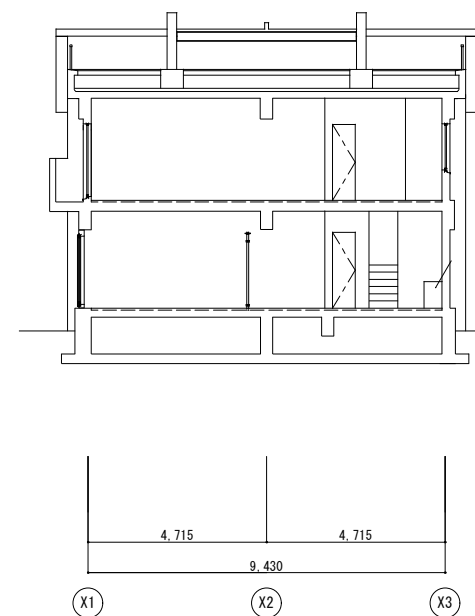
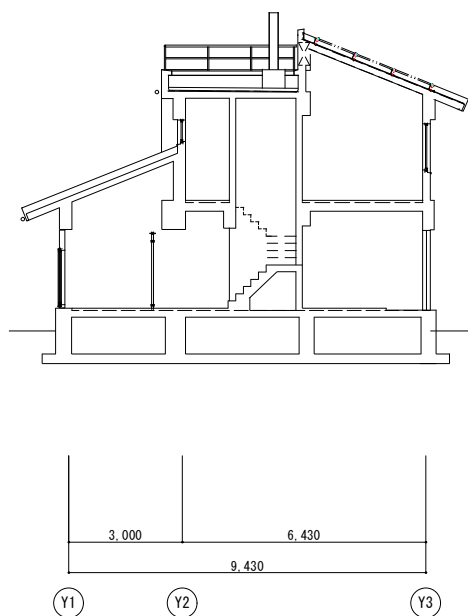
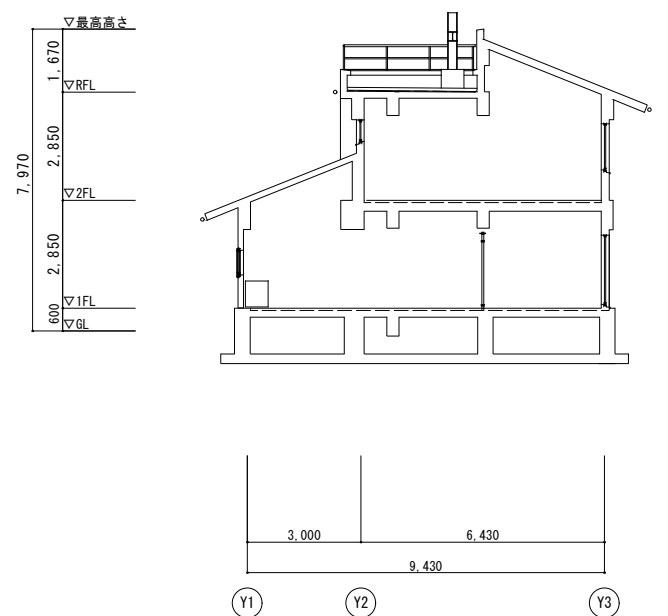
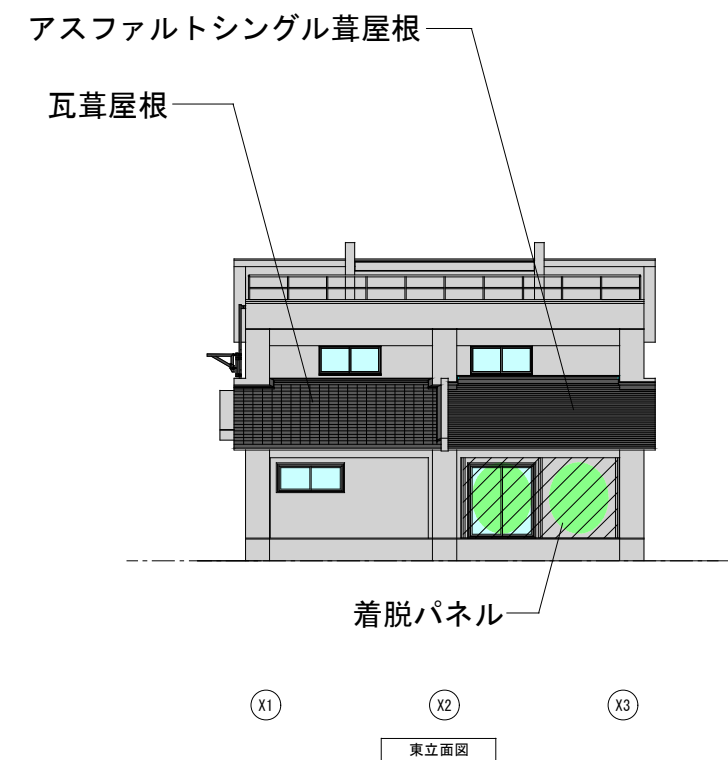
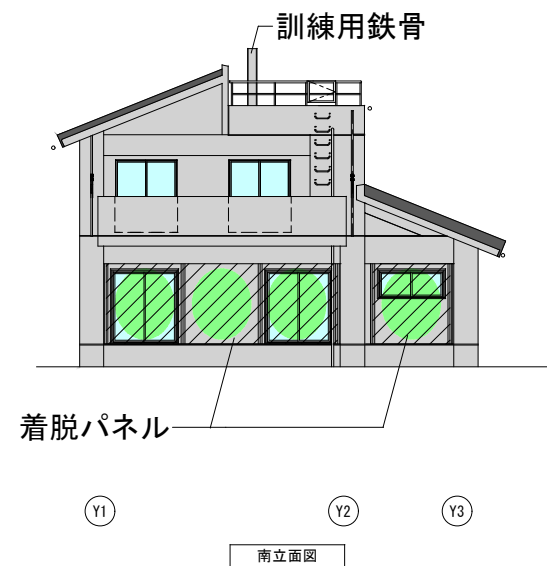
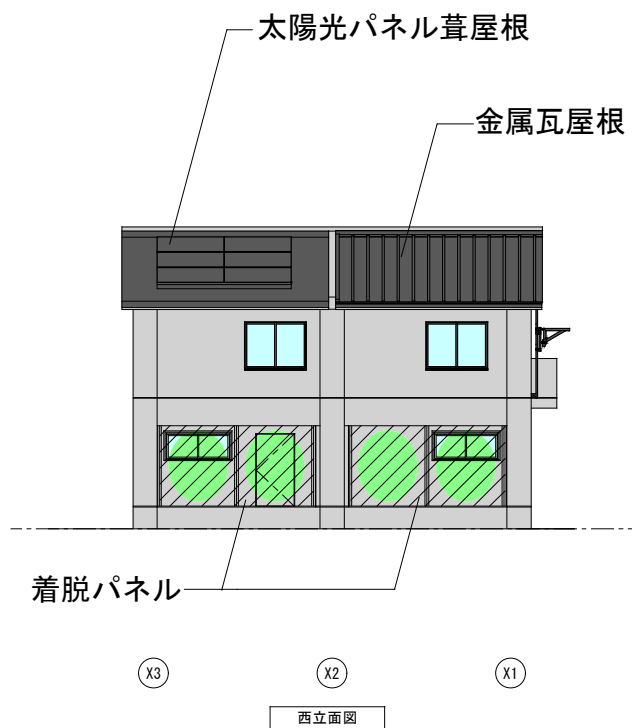
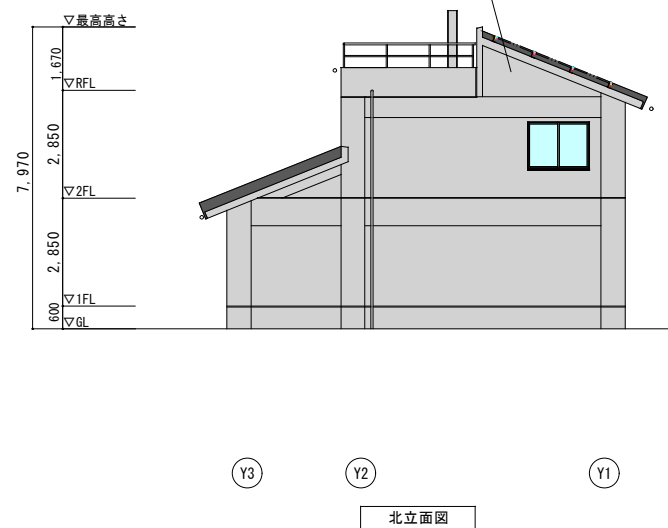


凡例
 着脱パネル

一般住宅は間仕切壁・柱を可動式にしているほか、壁・開口部の一部に着脱パネルを採用することにより、様々な場面を作れると共に、市民も消火訓練・救出訓練ができる体験型訓練棟を整備します。

1 1 . 訓練棟 B 立面、断面図

外壁：コンクリート打放補修の上、
防水型複層塗材Eフッソ樹脂上塗り



凡例
 着脱パネル